

～日頃の心構え～

もしものときの備えを



いつ発生するかわからない地震や洪水などの自然災害。
いざ、自然災害が発生すると、的確に行動することは困難
ですので、日頃から「備え」をしておくことが大切です。

○自然災害は突然発生するもの

今回発生した台風19号は、10月12日未明から13日にかけて、関東地方や東北地方を中心に、東日本各地に甚大な被害をもたらしました。

本町においては、群馬県、栃木県の激しい豪雨により、利根川の水位が上昇し、洪水に関する警戒レベルが4に達したことを受け、13日の午前2時15分に避難勧告を発令し、町内の中央公民館を含む11施設に避難所を開設し、約1,300名の方が避難しました。

利根川の水位が堤防を越水することが危惧されたため、利根川の堤防に土のうを積む作業を自衛隊及び水防団が実施しました。

また、災害時における相互応援に関する協定を締結している九十九里町からは、ブルーシート及び飲料水を提供いただきました。協力いただき、ありがとうございました。

台風19号による本町の被害は、一部道路への冠水などにより、一時、通行止めを実施しました。

自然災害は、いつ・どこで発生するかわかりません。いざ避難という時になって、慌てて荷物をまとめようとしても、なかなか、適切な判断がしにくいものです。

住民のみなさんには日頃から、非常時に備え、持ち出し品の用意や避難所の確認、マイタイムラインの作成などを実施しましょう。



増水した利根川（大福田地先）



増水した利根川（山王地先）



増水した江戸川（山王地先）



水防団による河川監視



冠水により通行止めされた道路



利根川の堤防に設置された土のう